
何故、毎週更新か？

2021年3月16日

藤井大輔(東京大学)

仲田泰祐(東京大学)

前提

- モデルは現実を完全に捉えられない
 - 時間的・資源的制約により、現実において重要な要素を全て入れることが出来ない
 - 今まで研究されていなかった事柄(例:パンデミックにおける感染症対策と経済の両立)に関しては「どのモデルがどのように役に立つか」についての知識の蓄積がない
- ただ何も言えないわけではない
 - 「We do not know everything. But that does not mean we know nothing.」
 - Tim Cogley (NYU), as quoted by Tom Sargent (NYU).
 - <https://www.youtube.com/watch?v=bVIOCIT4Rws&t=710s>

定期的更新の意義

- 「モデルから何が期待できるか・出来ないか」が徐々にわかってくる
 - 一回だけの分析では、気が付かないことが大抵ある
 - 一回だけの分析では、何が普遍的なのかいまいちよくわからない
 - 定期的更新によって、新たな気付きと普遍的なメッセージを引き出せる

定期的更新の意義

■ 分析者が学習できる

- 予想していなかった状況が起こることがある。その状況にモデルがどのように反応するかを見ることで、モデルに対する理解がより深まる。
- 過去の分析と比較することによって、新たな気づきが生まれる

■ 分析に規律をもたらす

- 過去・将来の分析との整合性に気を配ることで、分析に一貫性が生まれやすい
- 「この人はあの時どのような分析をしていたか」と検証される立場に身を置くことによって、分析を良いものにしようとするインセンティブが高まる

定期的更新の意義

- 分析の消費者にきちんと分析を理解してもらえる可能性が生まれる
 - 一回だけの分析では、分析の仮定等をきちんと理解するインセンティブは低い
 - 経済・金融以外の分野の人々にとって、「経済＝難しい・よくわからない・考えたくない」
 - 科学以外の分野の人々にとって、「数理モデル＝難しい・よくわからない・役に立っている事例を知らない・考えたくない」
 - より一般的に、数字や図を見るだけでも苦痛な人々も沢山いる
 - 分析の消費者は大抵とても忙しい
 - 毎週更新だと、きちんと理解しようとするインセンティブが高まる
 - 特にメディアの方々
 - 毎週同じ分析を繰り返し見ることで、「肌感覚」で理解が深まる

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
 - dfujii@e.u-tokyo.ac.jp
 - taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp